令和６年度
第１回静岡市自然の家運営協議会

霧のキャンプサイト

日時　　令和６年７月２５日（木）１０時３０分

会場　　静岡市南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

令和６年度　第１回静岡市自然の家運営協議会　次第

日時　　令和６年７月２５日（木）１０：３０～
会場　　南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

１　館内見学

２　開会

３　教育委員会事務局　教育局次長　挨拶

４　自然の家運営協議会　会長　挨拶

５　委員委嘱状及び任命状授与

６　議事
（１）報告事項
① 運営方針（概要・経営の土台・教育目標・具体的な取組）
② 令和５年度事業報告
ア　年間利用状況
イ　主催事業活動報告
③ 令和５年度第２回運営協議会提言後の取組について
④ 令和６年度事業計画

（２）協議事項
「井川自然の家をより魅力的な施設にするために」

７　教育委員会事務局　教育総務課長　挨拶

８　閉会

令和6年度　静岡市自然の家運営協議会委員名簿
任期　　令和5年7月22日から2年間

選出区分	氏　　名	在籍年数	役 職 名 等
学識経験者	たけだ　しげみ 武田　重美	1期目・2年目	両河内地区連合自治会
学識経験者	かとう　けんいち 加藤　憲一	2期目・4年目	一般社団法人　みんぐるいかわ 代表理事
学識経験者	えんどう　ちさと 遠藤　知里	3期目・6年目	静岡県キャンプ協会　理事
学識経験者	もりやま　としえ 森山　敏衣	3期目・6年目	南ｱﾙﾌﾟｽ・井川ｴｺﾂｰﾘｽﾞﾑ 推進協議会　委員
学識経験者	おいかわ　かつよし 及川　勝義	1期目・2年目	両河内地区青少年健全育成 推進委員長
青少年団体関係者	もちづき　くみこ 望月久美子	1期目・2年目	静岡市子ども会連合会　事務
青少年団体関係者	あおき　きくこ 青木貴久子	1期目・2年目	ｶﾞｰﾙｽｶｳﾄ静岡市協議会　会長
青少年団体関係者	すずき　みき 鈴木　美紀	1期目・1年目	静岡市ＰＴＡ連絡協議会　理事
青少年団体関係者	わきさか　えいこ 脇坂　英子	2期目・3年目	日本ボーイスカウト静岡県連盟 清水地区委員長
市立学校の校長	さくらい　まもる 櫻井　守	2期目・3年目	静岡市立井川小中学校長
市立学校の校長	こやま　あつし 小山　敦史	1期目・1年目	静岡市立両河内小中学校長
市　　民	こうご　きよえ 光後　圭枝	3期目・6年目	市民公募委員
市　　民	すがぬま　あやこ 菅沼　綾子	2期目・4年目	市民公募委員
市　　民	ほそかわ　えりこ 細川恵里子	1期目・2年目	市民公募委員

令和6年度

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家 グランドデザイン

ねらい

自然体験活動及び集団宿泊生活を通して、規律、共同、友愛、奉仕の精神を培い、心身共に健全な少年の育成を図ると共に、市民に自然探究その他の自然に関する学習の機会を提供する。

教育目標

自然体験活動及び集団宿泊生活を通して、 **たくましく生きる力を育む**

自分づくり

豊かな心・感性・健やかな体・自ら考え行動する力・基本的生活習慣・規範意識・自己表現力等を育む

仲間づくり

他者の尊重・アイデアの共有・コミュニケーション能力・協調性・共感性・思いやり・集団適応能力等を育む

未来づくり

自分や社会のより良い将来を考えたり、実現に向けて実行したりする力・SDGs やオクシズへの興味等を育む

具体的な取組

(1)自然宿泊活用事業

ア 自然を体感できる各種のプログラムの充実
イ 宿泊体験の中での育成プログラムの充実
ウ 一般利用者も充実できる工夫

(2)主催事業及び育成事業

ア 安全安心な配慮及び親切丁寧な対応と支援
イ 児童生徒などにエコパークの理念を教授
ウ キャンプリーダー及び自然体験活動指導者の確保及び育成強化

(3)地域・人材活用事業

ア 主催事業等における地域の資源活用
イ 主催事業等における地域住民の人材活用
ウ 主催事業等における専門家・業者の人材活用

(4)利用促進事業

ア フェイスブック・ホームページ・からまつ・メール配信・市の広報(静岡気分)・校務支援システム、予約システム(オクシズばった)の活用
イ PR活動の工夫
(ターゲットを絞ったチラシ作成及び配架等)

効果的な評価

ア 運営協議会の充実(提言の有効利用と成果の見える化)
イ ブランディング(様々なフレームによる分析と他施設との差別化)
ウ 効果的な振り返りの工夫
(利用者アンケートの活用)

(5)未来づくり事業

ア 環境共生課との連携(出前授業・南アルプス資料展示等)
イ SDGs の見える化
(企画課との連携)

経　営　の　土　台

- 自然との共生
- 安全安心
- 利用者主体
- 活動の充実
- 不易流行

令和6年度

静岡市南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

1 報告事項

（1） 運営方針

ア 概要

昭和51年「井川少年自然の家」からスタートした本施設は、井川地区を含めた南アルプスが平成26年6月にユネスコエコパークに登録されたことを受け、「静岡市南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」と改名した。奥大井県立自然公園の南端に位置し、標高1000mの井川高原にある本施設は、北には赤石岳や聖岳などの3000m級の南アルプスの連山を仰ぎ、眼下には美しく横たわる井川湖を望み、東には山伏、県民の森、リバウェル井川スキー場等がある。

井川自然の家の位置

赤□を拡大

このような恵まれた自然環境を活用し、『自然体験活動及び集団宿泊生活を通して、「規律」「共同」「友愛」「奉仕」の4つの精神を培い、心身ともに健全な少年の育成を図る』という開所当初からのねらいに『市民に自然探究その他自然に関する学習の機会を提供する』という個人利用に向けた新たなねらいを加えた。

イ 経営の土台

上記のねらいを達成するために、以下の5点を経営の土台として取り組んでいく。

(a)自然との共生

環境共生課と連携しながら多くの児童生徒や市民・利用者にユネスコエコパークの理念や南アルプス・井川の自然を知ってもらう。

(b)安全・安心

事故やケガ等を未然に防ぐための施設管理、適切な活動計画の提供と支援、食物アレルギーや感染症などへの危機管理体制を維持する。

(c)利用者主体

子どもたちに身につけさせたい力などを大切にし、その目標に応じた活動プログラムを提供する。

(d)活動の充実

利用者が井川の自然の生かして直接体験を取り入れ、成就感や達成感、充実感、満足感を体感させ、自己有用感や自尊感情をもたせる。

(e)不易流行

開所当初から積み上げてきた本質的な価値を大切にしていくとともに、時代の変化やニーズに合わせて新しいものを柔軟に取り入れていく。

ウ 教育目標

本所の教育目標は「自然体験活動及び集団宿泊生活を通して、たくましく生きる力を育む」とした。「令和の日本型学校教育」を踏まえ、たくましく生きる力を「自分づくり」「仲間づくり」「未来づくり」の3つに類型化し、様々な活動プログラムのねらいを明確化した。

・「自分づくり」
自然の美しさや他人の優しさ等から感動する豊かな心や感性、登山やハイキング等に耐えうる健康な身体、課題に対して自ら考え行動し、規範意識、自己表現力、自己肯定感などを育む。
・「仲間づくり」
仲間と活動する中で互いの立場を尊重しながら知識とアイディアを共有し、コミュニケーション能力、協調性、思いやり、集団適応能力等を育む。
・「未来づくり」
自分や社会のより良い将来を考え、その実現に向けて実行する力や自然環境の有限性に気づき、SDGs やオクシズへの興味等を育む。

エ 具体的な取組

（a）自然宿泊活用事業
〇学校・青少年団体・一般利用（グループ・個人）などを受け入れ、学校や団体の目的、目標に即した自然体験活動や集団宿泊体験を行う。
・学校や団体の目的、目標に合った活動プログラムになるよう事前打合せを丁寧に行う。
・ユネスコエコパークに登録されている井川の自然を体感してもらうための活動プログラムの充実を図る。
・新館特別室やキャンプサイトの利用を促し、一般利用の宿泊や活動が充実したものになるように工夫する。

（b）主催事業及び育成事業
〇児童生徒、家族、グループなど、それぞれの対象に応じた事業を主催し、目的に応じた自然体験活動や活動プログラムを実施する。
〇自然の家が立案した研修プログラムを通して、キャンプリーダーや自然体験活動指導者を育成する。
・児童生徒を対象としたトム・ソーヤ事業では、他の学校や異学年の仲間と一緒に、自然体験活動や自分の家や親元を離れての集団宿泊体験などを通して、たくましく生きる力を育む。
・家族、グループを対象とした事業では、井川の自然を実感できる自然体験活動を通して、他の家族やグループとの交流を図ることができる工夫をする。
・育成したキャンプリーダーや自然体験活動指導者が、主催事業参加者とともに活動プログラムに関わることで、安全安心な主催事業の実施と事業内容の充実を図る。

（c）地域・人材活用事業
〇地域人材や地域資源を活用したプログラムや主催事業を開発・実施することで、南アルプスユネスコエコパークの理念でもある「地域の持続的な発展」に寄与する。
・井川湖、渡船、井川ダム、井川本村、リバウェル井川スキー場、大井川鉄道など、井川本村の施設や人々とつながり、地域の特色を生かした事業やプログラムの開発をしていく。
・専門的な知識や技能を持っている地域の人材を活用し、地域の魅力の発信と地域振興に寄与することができる事業やプログラム開発に努める。

(d)利用促進事業

〇市街地から遠く離れた「井川」をより身近に感じてもらい、自然の家を利用する人数を増やしていけるような広報活動を行う。

・ホームページやフェイスブック、広報誌を使って、新鮮な情報を発信していく。

・市の公式 SNS や LINE、中山間地振興課の SNS を活用するなど、情報発信の方法を広げていく。

・利便性が高まる予約システムの運用を活用し、情報提供を図っていく。

・一般キャンパー、中学校や高校の吹奏楽部、バスケットボールクラブ等の利用が増加しているので、ターゲットを絞ったPR活動を進めていく。

(e)未来づくり事業

〇南アルプスユネスコエコパークの理念を広めるために、啓発活動やPR活動を行う。

・環境共生課と連携しながら、出前授業や資料展示を行う。

・企画課とも連携し、第4次総合計画の SDGs への取組をより総合的に推進していく。

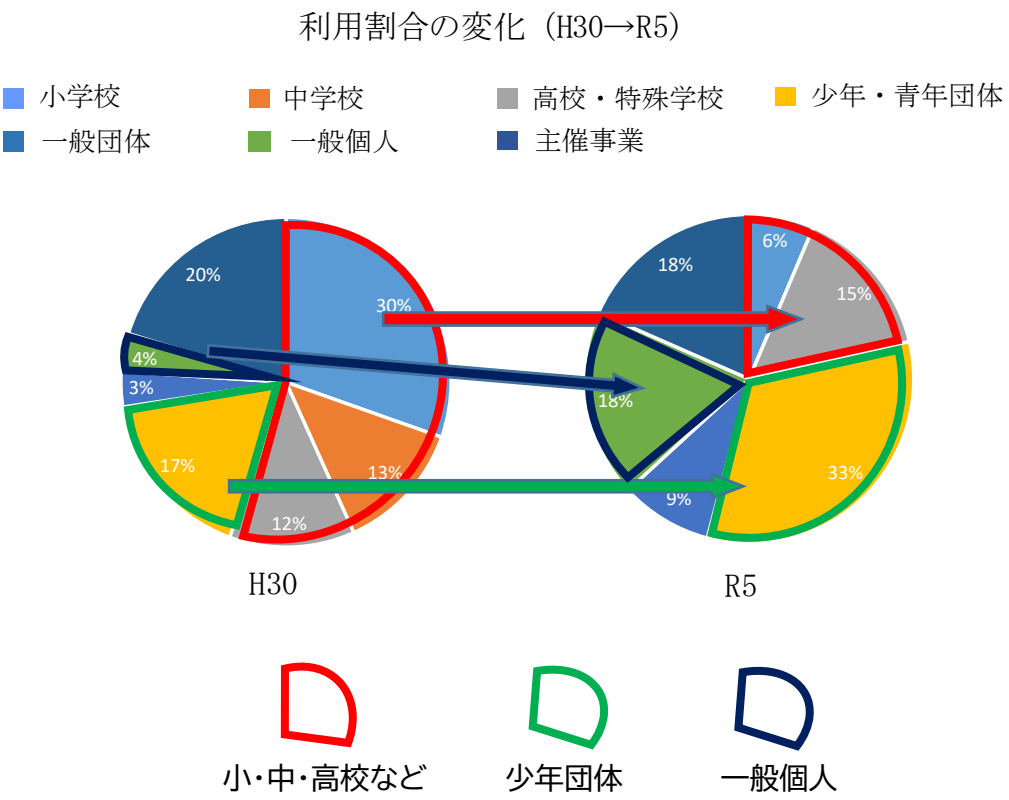
・「南アルプスの自然を守る」ことは、「身の回りの身近な自然環境を守る」ことつながり、将来的に持続可能な社会を創ることになるという考え、意識を広め、静岡市の未来を担う人材の育成を図る。

(2) 令和5年度事業報告

ア 年間利用状況

井川自然の家　年度別利用状況（平成30年度～令和5年度）　　単位：人

	小学校		中学校		高校・特殊学校	少年団体	青年団体	一般団体	一般個人	主催事業		計
H30	19 校	3,847	6 校	1,622	1,550	1,756	395	432	473	25/27回	2,552	12,627
R1	17 校	3,515	0 校	0	1,282	2,560	353	803	673	22/24回	2,465	11,651
R2	8 校	1,786	0 校	0	245	2,464	0	371	809	16/27回	870	6,545
R3	11 校	1,667	0 校	0	200	1,643	0	0	719	16/24回	728	4,957
R4	7 校	613	1 校	190	400	1,592	0	109	718	20/22回	830	4,452
R5	3 校	445	0 校	0	1,376	1,960	0	634	1,288	23/23回	1,286	6,989



【考察】

＊個人・家族の一般利用や少年団体の利用が増加傾向にあり、利用客層の変化がより一層顕著になってきた。特に一般個人利用の割合が大幅に増加しており、インターネット予約システムの利便性の良さが影響していると思われる。

＊令和5年度は、高校、少年団体、一般団体、一般個人の利用増により、2,500 人の利用者増加となった。コロナウィルスによる制限は解消されたが小中学校の利用は回復していない。

＊道路整備は進んでいるものの、落石や道の起伏、狭い道幅等の影響で大型バスの運行を控えるバス会社もまだまだ多い。また、小型バスやマイクロバスに分乗して来所するとバスの費用が高くなってしまうこと、乗り物酔いを心配する声が後を絶たないこと、これらの理由から市外の他施設を利用する学校が増えている。また、一度、他施設を利用してしまうと、交通の便の良さ、立地の便利さからか、再び井川自然の家を利用してくれる学校が少ないのが現状である。2泊3日で実施されてきた自然体験教室を1泊2日に縮小した学校が多いことも井川を利用しない要因の一つと考えられる。

＊今後も、市内の小中学校への利用依頼を引き続き行っていくが、利用客層の変化に柔軟に対応し、特に、少年団体、青年団体、企業研修等の利用増加も促していきたい。

イ　令和5年度主催事業　活動報告

令和5年度は23の主催事業を計画し、すべての事業を実施することができた。
8月のトム・ソーヤチャレンジキャンプは、悪天候により、日程を1日短縮して実施した。

	No.	事業名	実施日	対象	募集数	申込方法	内　容
トム・ソーヤ事業	1	トム・ソーヤ ビギナーキャンプ	5/13(土) 5/14(日)	小2 小3	36名 程度	ネット	主として初めてトム・ソーヤに参加するお子様に向けの企画 キャンプサイトで秘密基地づくりなど
	2	トム・ソーヤ in和田島	7/29(土)	小3 ～小6			和田島で沢のぼり体験など
	3	トム・ソーヤ チャレンジキャンプ	8/16(水) ～8/19(土)	小4 ～中3	54名 程度		自然の家をベースキャンプにして、登山にチャレンジなど ⇒悪天候により8/16～8/18の日程で実施
	4	トム・ソーヤ オータムキャンプ	9/30(土) 10/1(日)	小4 ～中3	40名 程度		テント泊や簡単な炊飯活動など
	5	トム・ソーヤ あきのにこにこキャンプ	10/28(土) 10/29(日)	小1 ～小3	54名 程度		秋の自然見つけとクラフト体験など
	6	トム・ソーヤ スキーキャンプ	1/27(土) 1/28(日)	小4 ～中3	36名 程度		リバウェル井川スキー場でスキーの基本を学ぶ スキー初級者向けの企画
	7	トム・ソーヤ ウインターキャンプ	2/10(土) 2/11(日)	小1 ～小3			リバウェル井川スキー場で雪遊びや冬の森探検など
家族対象事業	1	井川de山菜グルメ	4/22(土) 4/23(日)	家族	9組	ネット	山菜採りハイキングやてんぷら作りなど
	2	井川deアウトドア クッキング入門	6/24(土) 6/25(日)		9組		野外で行うお手軽、簡単なクッキングなど
	3	家族de 沢のぼりin和田島	8/5(土)		10組		和田島で沢のぼり体験など
	4	井川de秋体験	9/9(土) 9/10(日)		10組		井川の在来作物を用いた料理体験など
	5	井川deファミリーオータム キャンプ	9/16(土) 9/17(日)		14組		家族でキャンプ体験、自然の家のテントを使ってテント設営や 炊飯活動など
	6	井川deクリスマスリース 作り	①11/25(土)-26(日) ②12/2(土)-3(日)		各8組		自然の素材を利用したクリスマスリース作りなど
送迎バス付事業	1	井川de紅葉狩り	11/9(木)	個人 家族	25名 程度	ネット	送迎バス付の大人向け事業 井川での紅葉狩りハイクなど
	2	井川de冬満喫の旅	12/9(土) 12/10(日)		30名 程度	旅行会社にTEL	送迎バス付きの家族向け企画 井川湖渡船の乗船体験や温泉の入浴、井川本村散策など
	3	井川deスキー＆雪遊びⅠ	2/3(土) 2/4(日)		40名 程度		送迎バス付きの家族向け企画 リバウェル井川スキー場でスキーや雪遊び
	4	井川deスキー＆雪遊びⅡ	2/17(土) 2/18(日)		40名 程度		
その他	1	井川deトレラン＆夏体験	7/23(日)	個人 グループ	20名 程度	ネット	トレイルランニングの留意点や携行品、マナー等を学ぶ トレイルランニングの初級者向けの企画

育成事業	1	キャンプリーダー 育成講座	7/15(土) 7/16(日)	高校生 大学生	10名 程度	電話 or メール	トム・ソーヤ事業に係るキャンプリーダーのスキルを学ぶ研修会 炊飯活動など子どもたちへの支援の仕方を身に付ける講座
	2	自然体験活動指導者 育成講座Ⅰ	6/10(土) 6/11(日)	学生を除く18歳以上の方	10名 程度	電話 or メール	家族・グループを対象とした主催事業の指導者としてのスキルを学ぶ第1回研修会。危機管理と救命講習、テント設営、炊飯活動などを実施
	3	自然体験活動指導者 育成講座Ⅱ	10/14(土) 10/15(日)				家族・グループを対象とした主催事業の指導者としてのスキルを学ぶ第2回研修会。井川本村探訪などを実施
	4	自然体験活動指導者 フォローアップ研修	5/20(土) 5/21(日)	指導者 登録者	希望者	文書 or メール	井川自然の家の自然体験指導者登録者のスキルアップを図る研修会 活動プログラム開発やアクティビティの情報交換など （対象：井川自然の家の自然体験活動指導者として登録している方）

令和5年度主催事業の活動の様子（一部）

●トム・ソーヤ事業

●家族・グループ対象事業

令和5年度主催事業の活動の様子（一部）

●その他の事業(送迎バス付事業)

●育成事業

令和5年度主催事業　満足度一覧

募集人数に対して、応募率が平均180%以上あり、どの事業も大変人気が高かった。

特に家族対象事業の応募率が高く、今後は募集組数の増加や複数開催を視野に入れながら参加希望家族のニーズに応えていきたい。

また、参加者からのアンケートでは、所員について「親切で丁寧な対応で、有難かった」という声を多くいただき、本所が取り組んでいるモットーを高く評価していただいた。また、「食事が大変美味しかった」「綺麗な清潔感ある館内だった」という感想から、委託業者みんぐるいかわと協力して運営している所も評価していただいた。主催事業の満足度は、全て100%であった。

		事業名	募集人数	応募人数	応募率	参加人数	アンケート回収数	とても楽しかった	楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった	満足度
トム・ソーヤ事業	1	ビギナーキャンプ	36	57	158.3%	34	34	31	3	0	0	100.0%
	2	in和田島	36	94	261.1%	33	33	30	3	0	0	100.0%
	3	チャレンジキャンプ	54	97	179.6%	50	50	47	3	0	0	100.0%
	4	オータムキャンプ	40	70	175.0%	39	39	33	6	0	0	100.0%
	5	あきのにこにこキャンプ	54	97	179.6%	49	49	45	4	0	0	100.0%
	6	スキーキャンプ	36	86	238.9%	33	33	28	5	0	0	100.0%
	7	ウィンターキャンプ	36	86	238.9%	35	35	34	1	0	0	100.0%
井川de～事業		事業名	募集組数	応募組数	応募率	参加組数	アンケート回収数	とても楽しかった	楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった	満足度
	1	山菜グルメ	9　組	33　組	366.7%	9　組	9	8	1	0	0	100.0%
	2	アウトドアクッキング入門	9　組	35　組	388.9%	9　組	9	9	0	0	0	100.0%
	3	家族de沢のぼりin和田島	10　組	35　組	350.0%	8　組	8	7	1	0	0	100.0%
	4	秋体験	10　組	8　組	80.0%	8　組	8	6	2	0	0	100.0%
	5	ファミリーオータムキャンプ	14　組	19　組	135.7%	13　組	13	13	0	0	0	100.0%
	6	クリスマスリース作りⅠ	8　組	14　組	175.0%	7　組	7	6	1	0	0	100.0%
	7	クリスマスリース作りⅡ	8　組	16　組	200.0%	8　組	8	8	0	0	0	100.0%
送迎バス付事業		事業名	募集人数	応募人数	応募率	参加人数	アンケート回収数	とても楽しかった	楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった	満足度
	1	井川de紅葉狩り	25	27	108.0%	24	23	16	7	0	0	100.0%
	2	井川de冬満喫の旅	30	10	33.3%	4	4	4	0	0	0	100.0%
	3	井川deスキー＆雪遊びⅠ	40	47	117.5%	29	8	8	0	0	0	100.0%
	4	井川deスキー＆雪遊びⅡ	40	42	105.0%	36	12	10	2	0	0	100.0%
その他		事業名	募集人数	応募人数	応募率	参加人数	アンケート回収数	とても楽しかった	楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった	満足度
	1	井川deトレラン＆夏体験	20　名	62　人	310.0%	53　人	28	26	2	0	0	100.0%
育成事業		事業名	募集人数	応募人数	応募率	参加人数	－	－	－	－	－	－
	1	キャンプリーダー育成講座	10	17	170.0%	17	－	－	－	－	－	－
	2	自然体験活動指導者育成講座Ⅰ	10	6	60.0%	5	－	－	－	－	－	－
	3	自然体験活動指導者育成講座Ⅱ	10	6	60.0%	6	－	－	－	－	－	－
	4	自然体験活動指導者フォローアップ研修	10	8	80.0%	8	－	－	－	－	－	－

（3） 令和5年度　第2回運営協議会後の取組について

協議事項「静岡市唯一の自然の家として、『井川自然の家』の目指す姿や運営の在り方について」

《委員からのご意見を参考にした今年度の取り組み（議事録より）》

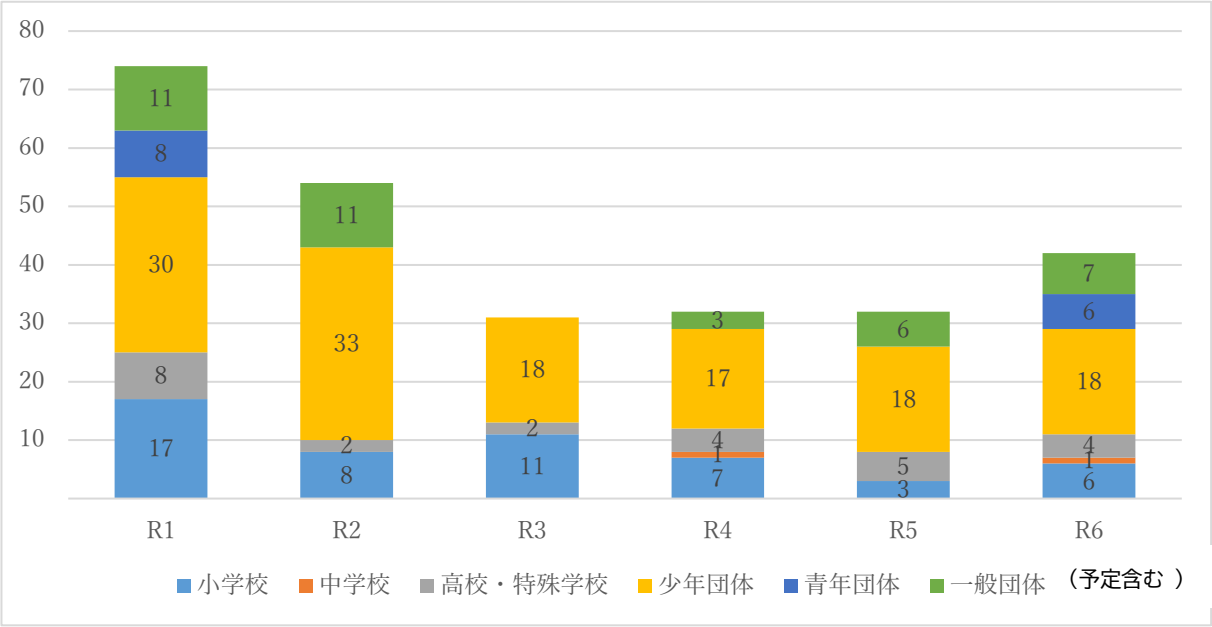
<table>
<tr><th>委員からのご意見</th><th>取り組み</th></tr>
<tr><td>民間企業との連携を強めて、様々な体験活動を提供してはどうか。</td><td>井川蒸留所でウイスキーを作っている十山株式会社と連携し、間伐材を使ったお箸づくりや木工体験等のプログラムを提供してもらう。
 </td></tr>
<tr><td>井川本村との連携を強め、井川地域の文化に触れる体験があるとよい。</td><td>「けずり花づくり体験」や「雑穀・在来作物で調理体験」を、地域住民を講師としたプログラムとして提供してもらう。

正月飾りとして井川地区に伝わる「けずり花づくり体験」「ヌルデ」の木を材料に、豊作を祈願して作られてきた。

井川の在来作物「コウボウキビ」を使って作った焼餅づくり</td></tr>
</table>

(4)令和6年度事業計画

利用(予定)校及び利用団体



[小・中・高など]

本年度の小中学校の利用(予定)は、中藁科小学校、伝馬町小学校、常葉橘小学校、大河内小中学校、井川小中学校、翔洋中学校、こども若者相談センターの7校に留まった。道路事情による児童生徒のバス酔いや緊急時の不安等の懸念材料がぬぐい切れない。

[その他の団体]

自家用車やマイクロバス等での来所が可能なバスケットの少年団体をはじめ、高校部活動の合宿や大学、一般企業の新規予約が数多くあり、本年度は多岐にわたって利用が見込まれている。徐々ではあるが、年間の利用団体数に回復の兆しが見られる。

[一般個人]

例年延べ700名前後の利用だったが、昨年度5月からインターネット予約システム「オクシズばった」の運用が始まり、昨年度は 1288 名の個人利用があった。今年度もさらに多くの一般利用が予想される。

令和6年度　主催事業一覧

	No.	事業名	実施日	対象	募集数	申込方法	内　容
トム・ソーヤ事業	1	トム・ソーヤ ビギナーキャンプ	5/11(土) 5/12(日)	小2 小3	40名 程度	ネット	主として初めてトム・ソーヤに参加するお子様に向けの企画 キャンプサイトで秘密基地づくりなど
	2	トム・ソーヤ チャレンジキャンプ	8/20(火) ～8/23(金)	小4 ～中3	50名 程度		自然の家をベースキャンプにして、テント泊や登山にチャレンジなど
	3	トム・ソーヤ オータムキャンプ	9/28(土) 9/29(日)	小4 ～中3	40名 程度		テント泊や炊飯活動など
	4	トム・ソーヤ あきのにこにこキャンプ	10/19(土) 10/20(日)	小1 ～小3	50名 程度		秋の自然見つけとクラフト体験など
	5	トム・ソーヤ ウインターキャンプ	1/25(土) 1/26(日)	小1 ～小3	40名 程度		リバウェル井川スキー場で雪遊びや冬の森探検など
	6	トム・ソーヤ スキーキャンプ	2/8(土) 2/9(日)	小4 ～中3			リバウェル井川スキー場でスキーの基本を学ぶ スキー初級者向けの企画
家族対象事業	1	井川de山菜グルメ	4/20(土) 4/21(日)	家族	12組	ネット	山菜採りハイキングやてんぷら作りなど
	2	井川deアウトドア クッキング入門	6/29(土) 6/30(日)		12組		野外で行うお手軽、簡単なクッキングなど
	3	井川deファミリーサマー キャンプ	7/27(土) 7/28(日)		14組		家族でキャンプ体験、自然の家のテントを使ってテント設営や 炊飯活動など
	4	井川deおやつ作り ＆ハイキング	9/7(土) 9/8(日)		12組		井川の在来作物の食べ比べや雑穀を用いたおやつ作り体験、 大日古道を使ったハイキングなど
	5	井川deファミリーオータム キャンプ	10/5(土) 10/6(日)		14組		家族でキャンプ体験、自然の家のテントを使ってテント設営や 炊飯活動など
	6	井川deクリスマスリース 作り	11/23(土) 11/24(日) 11/30(土) 12/1(日)		各10組		自然の素材を利用したクリスマスリース作りなど
送迎バス付事業	1	井川de冬満喫の旅	12/7(土) 12/8(日)	個人 家族	30名 程度	旅行会社にTEL	送迎バス付きの家族向け企画 アプト式列車の乗車体験や温泉の入浴、井川本村散策など
	2	井川deスキー＆雪遊びⅠ	2/1(土) 2/2(日)		40名 程度		送迎バス付きの家族向け企画 リバウェル井川スキー場でスキーや雪遊び
	3	井川deスキー＆雪遊びⅡ	2/8(土) 2/9(日)				
その他	1	井川deトレラン＆夏体験	7/21(日)	個人 グループ	40名 程度	ネット	トレイルランニングの留意点や携行品、マナー等を学ぶ トレイルランニングの初級者向けの企画

育成事業	1	キャンプリーダー 育成講座	7/13(土) 7/14(日)	高校生 大学生	10名 程度	電話 or メール	トム・ソーヤ事業に係るキャンプリーダーのスキルを学ぶ研修会 炊飯活動など子どもたちへの支援の仕方を身に付ける講座
	2	自然体験活動 指導法講座 兼自然体験活動指導者 育成講座Ⅰ	5/25(土) 5/26(日)	学生を除く18歳以上の方	10名 程度	電話 or メール	テント設営・炊飯活動・野遊びなど、自然体験活動の指導者としてのスキルを学ぶ講座。危機管理の講座や救命講習も実施
	3	井川deエコパーク学習会 兼自然体験活動指導者 育成講座Ⅱ	11/9(土) 11/10(日)		10名 程度		井川本村探訪やつる細工づくりなど、井川地域に伝わる歴史や文化を体験できる講座。
	4	ネイチャーゲーム 体験講座 兼自然体験活動指導者 キャンプリーダー＆フォロー アップ研修	8/3(土) 8/4(日)	18歳以上の方	20名 程度	文書 or メール	講師から自然体験活動のスキルを実習を通して学ぶ研修会
				指導者登録者	希望者		自然体験指導者登録者のスキルアップを図る研修会 活動プログラム開発やアクテビティの情報交換など

令和6年度は、21事業の主催事業を計画している。本年度の特徴としては、

①アウトドア事業へのニーズの増加や、「夏にもキャンプのイベントが欲しい」という声を受けて、夏と秋の2回テント泊の事業を実施する。

②人気の高いクリスマスリース作り事業は、2週にわたって実施する。

③広く市民が参加しやすいように、育成事業の際に単発で参加できる事業を実施する。

④昨年度申し込みが大きく増加したため、今年度もトレラン事業に参加しやすいよう「個人申込可」「初心者向け」「日帰り」の開催とした。

⑤年間の主催事業のバランスを考慮し、12月にも主催事業を計画した。

なお、各事業とも募集数に対して平均180%程度の申込みがあるので、より多くの方に参加していただくために、上表より多くの人数・組の募集を検討している。

２ 協議事項

「井川自然の家をより魅力的な施設にするために」

令和5年度末、両河内地区の自然の家整備計画の再検討が決定しました。それを受け、本所では、和田島自然の家で人気のあった「沢のぼり体験」などのプログラムを取り入れたり、主催事業を引き継いだりして、「和田島でできたことが井川でもできる」というようなアピール方法も考えています。

自然の家を取り巻く考え方や市民の意識、ニーズが大きく変わっていく中で、「井川自然の家をより魅力的な施設にするために」を協議事項として、委員の皆様より、様々な視点からご意見やお考えをいただけたらと思います。よろしくお願いします。

「井川自然の家をより魅力的な施設にするために」